

県外派遣報告書

審判員名	山下 大志	所属	U-12
大会名	平成30年度 第50回全国ミニバスケットボール大会		
期間	2019年3月27日(水)～2019年3月30日(土)		
会場	高崎アリーナ		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
3月27日(水)	審判会議	高崎アリーナ	
3月28日(木)	講義および大会1日目	高崎アリーナ	
3月29日(金)	大会2日目	高崎アリーナ	
3月30日(土)	大会3日目	高崎アリーナ	
会議 講義 内容	テーマ	2POメカニクス	講師 漆間大吾 氏
<p>昨今の我々審判員を取り巻く環境は目まぐるしく変わってきている。今まで当たり前のように認識していたこともいつの間にか変わっていることがある。審判員は常にアンテナを張り、最新の情報を持っているようにしなければならない。今までの2POの4原則についてもそれぞれ用語や内容が変わってきているので、意味をしっかりと理解してオンザコートでの判定に活かさなければならない。2POでは特にエリア3やエリア6など互いの審判から遠いエリアに関して協力して見る必要がある。また、リードレフェリーのスイッチサイドについても積極的に見に行く努力をして欲しい。3POとは違いセンターレフェリーがいないのでリードレフェリーのポジショニングに合わせてトレイルレフェリーのポジショニングや見るべきものも対応していけるように。</p>			
実技			
担当試合	期 日	2019年3月28日(木)	男子
	対戦カード	岩手県 VS 愛知県	主審
	相手審判	小林 氏(広島県)	
ミーティング内容		主任 坂井 氏(日本協会)	
<p>ゲームの内容としては1点差の好ゲームで最後まで勝敗が分からない緊張感のあるゲームでした。判定の難しいケースはほとんどなかったが、全体的なゲームコントロールの部分はどうかだったのだろうか。1Q目の早い時間帯で主力の選手が自滅で負傷しゲームが止まった際の審判の対応について。一般の競技規則と違うが、審判が続行か交代かは判断できないので速やかにコーチをコートに招き入れてスムーズな対応ができればよかった。その時点でコーチと審判のコミュニケーションがうまくとれず審判員に不信感をもたれてしまう可能性もあるので気をつけたい。また、プレーの捉え方に関して多くの方がステーションリー&ディスタンスをステーションリーの箇所だけの意識になってしまっていないか。プレーとの距離(ディスタンス)を適度に確保する意識も持って欲しい。</p>			

実技				
担当試合	期 日	2019年3月29日(金)	女子	
	対戦カード	佐賀県 VS 大阪府	主審	
	相手審判	長田 氏(愛知県)		
ミーティング内容		主任 野田 氏(本部)		
<p>佐賀県の代表チームは5年生が主体ということもあり、技術面では互角だが体格の差が勝敗を分けるポイントとなるゲームだった。手の使い方や体の寄せ方などコンタクトとしてはそれほど大きなインパクトではないものの、体格差がある分、RSBQが崩れてしまうケースがいくつか見られた。オフェンスのアクションに関しても、ディフェンスのリアクションについてももう少し丁寧に見れたらよかった。トラベリングの判定に関しても一貫して取り上げられていないプレーがあった。ゲーム的には大差がついてしまっていたので勝敗に影響するプレーではなかったが、基準を示すという観点でいえば取り上げなければならない現象だった。</p>				
実技				
担当試合	期 日	2019年3月30日(土)	女子	
	対戦カード	鹿児島県 VS 北海道	主審	
	相手審判	福田 氏(兵庫)		
ミーティング内容		主任 小林 氏(新潟)		
<p>両チームともに平均身長のあるオーソドックスなチーム同士の対戦となった。お互い似たようなチームカラーでゲームも最終的には4点差の接戦で非常に良いゲームだった。序盤から基準を示していき良い流れでゲームが進行していったが、ゲームの終盤で30秒ショットクロックのブザーを聞き間違い、笛を鳴らしてしまった。ミスに関しては仕方のないことではあるが、その後の処置についても落ち着いて対処すべきだった。また、ゲームコントロールという観点からすると担当していたコートが他のコートと比べて大幅に進行が遅れていたため、リスタートを早くする等の配慮があれば良かった。オンザコートだけでなく、大会運営という視点でも課題が残るゲームとなった。</p>				
全体の感想				
<p>審判会議も含め3日間をとおして、今まで県内外で研鑽を積んできた成果を発揮できたゲームもありましたが、まとめきれないゲームもありました。ミニのゲームとはいえ、まだまだ予測ができていないことや自分の中で白黒つけられずにグレーになってしまっているケースも多くありました。今回の経験を活かしてまずは所属するミニのゲームを今以上に対応できるよう精進したいと思います。今回このような貴重な機会を与えてくださった県協会審判部会をはじめ、U-12審判部会の皆様に心より感謝申し上げます。</p>				